
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年11月25日号

©2009年10月における中国の大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年10月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国産大豆の買付が始まり、価格は相対的に安定

2009年10月、国産大豆の出荷が始まり東北国産大豆買付価格は相対的に安定しているが、黄海・淮海の生産地域は輸入大豆の影響を受け、価格は低下傾向である。

東北地区国産大豆平均買付価格は、1トン当たり3,571元、前月比0.4%安、前年同月比3.5%高、山東地区国産大豆工場買上価格は同3,637元、同1.7%安、同5.8%安となった。また、国際市場の影響を受け、国内大豆油価格は小幅の下落となった。

10月の平均価格は、山東地区四級大豆油の工場出荷価格が、同6,893元、前月比1.3%安、同1.1%安、中等大豆粕の工場出荷価格は同3,515元で、同1.8%高、同1.9%高となった。

2 国際大豆価格は小幅反発

2009年10月の国際大豆・大豆製品価格は反発し、米国シカゴ先物取引所（CBO T）の大豆価格は1トン当たり354.7ドル、前月比3.3%高、前年同月比3.5%高、大豆油は同806.0ドル、同5.5%高、同4.0%安、大豆粕は同313.9ドル、前月比1.3%高、同9.8%高となった。

3 輸入大豆価格（通関後）は国産大豆価格を上回った

2009年10月の山東地区輸入大豆価格（通関後）は1トン当たり3,774元と、当地の国産大豆価格を同137元上回った。メキシコ湾でのFOB価格では同374ドル（元換算2,554元）と、山東地区国産大豆買上価格を同1,083元下回った。

4 9月の大豆輸入量は減少、大豆油輸入量は大幅増加

海関統計によれば、9月の大豆輸入量は275万トン、前月比12.1%減、前年同月比33.4%減となった。1～9月の累計大豆輸入量は3,236万トン、前年同期比12.8%増となり、主要輸入先国は、ブラジル（45.0%）、米国（42.0%）、アルゼンチン（10.6%）を占めた。

9月の大豆油輸入量は30.6万トン、前月比48.8%増、前年同月比48.6%増、1～9月の累計大豆油輸入量は175万トン、前年同期比5.0%減、主要輸入先国は、アルゼンチン（75.9%）、ブラジル（21.0%）であった。

5 2009/10年度世界大豆生産量は増加、米国大豆の収穫は深刻な停滞

USDAの10月の予測では、2009/10年度米国産大豆は9.5%増の8,845万トンと見込まれる。業界紙「油世界」によれば、2009/10年度アルゼンチンの大豆生産量は2,000万トン増の5,200万トン、ブラジルの大豆生産量は440万トン増の6,200万トンと予測されている。しかし、降雨の影響を受け、米国大豆収穫は緩慢で、10月末の予測では、収穫率は70%低下し、昨年の90%の進度を下回る。